

(案)

令和6年2月13日

稲敷市長 笥 信太郎 様

稲敷市総合計画等審議会
会長 大澤 義明

第3次稲敷市総合計画の策定について（答申）

令和5年7月13日付け稲企第190号をもって諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議を重ねた結果、答申します。

なお、計画の推進にあたっては、本審議会の審議及び市民意識調査・市民ヒアリングなどの市民の意見を尊重するとともに、特に次の事項に配慮しながら、「自然とともに豊かさと幸せを実感できるまち」の実現に向けたまちづくりに努めることを要望します。

記

1. 本計画が示す将来像を多様な媒体を通じて市内外に周知し、市民や企業、市外関係者が参画する協働のまちづくりの推進をお願いしたい。
2. 重点プロジェクトをはじめ、本計画の進捗管理を適切に行い、社会変化に応じて目標を柔軟に見直し、実効性の高いまちづくりをお願いしたい。
3. 組織や地域の垣根を超えた横断的な連携・協力、さらにはデジタルなど新技術の活用により、人口減を前提としながらも新時代を拓くまちづくりの展開をお願いしたい。